



金田 成人 (松河原)

夢がかなう町

旧中山の松河原集落にきてはや20年が過ぎました。調理関係の仕事をしてはいますが、昨年より農業を始め、ブロッコリー、ネギなど少数多品目の野菜を作って出荷しています。しかし、傷やサイズな

どですべての野菜が出荷できるわけではありません。

そこで、地域自主組織やらいや逢坂に相談し、20年来の夢であった『子ども食堂』を昨年の8月から月2回開催し、皆さんに食べて

もらっています。今では卵や肉、魚類の食材提供協力者が増え、メニューを考える楽しさも倍増しています。たくさんの方の協力に感謝しながら、これからも笑顔や笑い声が増えるように続けていきたいです。

ボランティアスタッフ希望、いただき物、食べきれない食材などがありましたら、コミュニティスペースまじりにて受付けてます。



阪本 正晴 (御来屋)

大山町人移住

前職はサラリーマンで営業活動に従事していましたが、退職を機に自分がやりたい事を仕事にしたいと思い、漁師になるため、3月に大阪から移住してきました。

今まで経験したことのない沿岸部

での生活ということでも、どんな生活が待っているか想像もつかなかったですが、実際に大山町に住んでみると空気が澄んでいて食べ物美味しく、何と言っても水が合う。もっと早く行動し移住しとけば良かったなと少し後悔

しています。また、一番ビックリしたことは年配者の方々がバイタリティーに溢れており、社会に貢献していることです。

4月から漁師の研修がスタートしますが、時間がある時に隅々まで探索し大山町の魅力を感じたいと思います。



白鳥 弘明 (中高西区)

大山町に引っ越してきました

中学生のときに大山町に引っ越して来て、子どもの頃は大山町は何もなく米子に戻りたいと思っていましたが、大人になり仕事をしてその後結婚して子どもができる、考え方が変わりました。子どもが歩くようになり保育園や児童館に行くようになって、近所のかたが話しかけてくれるようになり、子どもの頃はわからなかった気遣いや優しさばかり嬉しくなりました。

このように大山町に住む人の温かさや大山の自然は子どもを育てるにはとても良い所が

も良く、今後は、子どもが大きくなってくるので、大山の自然豊かな場所や遊びに連れて行きたいと思っています。自分自身も、夏に螢を見たり、冬は大山に車で上がり、きれいな星空や米子の夜景を見に行くこともあり、とても満足しています。

大山町は、歳を重ねるほどに良い所がどんどん出てくる町で、来てよかった、今では思うようになりました。

サクラと大山

あとがき

1月以来、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大している。そのニュースが毎日流れるなか、3月議会で108億8000万円の新年度予算を議決した。合併15年を迎える新年度予算。心配された地方交付税の減額幅は小さいと見込まれ、ふるさと納税も順調に応援していただいている。まちの魅力づくり、住みやすいまちの創生、教育・福祉の増進が町の課題である。

しかし、新型コロナウイルスの影響がきわめて大きく、名和マラソンフェスタは中止が決まり、人が集まる会合は中止が相次いでいる。新年度予算の執行には困難が予想される。

一刻も早い新型コロナウイルスの収束を願うばかりである。

野口 昌

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 池田 幸恵

委員 西山富三郎

委員 岡田 聡

委員 西尾 寿博

委員 野口 昌作

委員 大杖 正彦

委員 加藤 紀之

議会だよりの感想をお寄せください!

発行/大山町議会 編集/広報常任委員会
〒689-3211 鳥取県西白郡大山町御来屋328
☎ 0859-54-5213 FAX 0859-54-5214